

## ウルグアイ経済報告（5月分）

### 【概況】

- 5月の消費者物価指数（対前年同月比）は11.05%となり、先月に続き政府のインフレ目標（3～7%）を上回った。前年同月比で食料品・ノンアルコール飲料、家具・家庭用品、娯楽・文化、財・サービスの分野では2桁、それ以外の分野では1桁台の増加であった。
- 5月の対ドル為替レートは平均43.43ペソと、前月比0.09%のペソ安となった。
- 5月の輸出額は626百万米ドル、前年同月比は26%減となった。セルロース、牛肉、大豆、炭酸飲料原料、乳製品をはじめとする大部分の製品の輸出は減少したが、コメの輸出は好調であった。
- 5月の輸出額第1位は牛肉で輸出額は132百万米ドルであったが、主要輸出先である中国への輸出の大幅な減少（37%減）に伴い前年同月比は21%減となった。なお、輸出先第2位の米国への輸出は71%増加した。同2位は大豆で輸出額は120百万米ドル（前年同月比19%減）となった。同3位は特に輸出の落ち込みが大きかったセルロースで、輸出額は82百万米ドル（前年同月比37%減）となった。
- 輸出が好調であったのがコメである。5月の輸出額第4位のコメは、メキシコ、ペルー、パナマへの輸出増加に伴い輸出額は前年同月の2倍以上にあたる45百万米ドル（前年同月比110.4%増）となった。また、EU、トルコ、キューバ、コスタリカへの輸出も僅かに増加した。柑橘類の輸出も僅かに増加し輸出額は13百万米ドルとなった。
- 輸出が不調であったのは羊毛（前年同月比82%減）、自動車部品（同80%減）、牛肉製品（同37%減）、皮（同70%減）である。また炭酸飲料原料も20百万米ドル（前年同月比59%減）となった。5月の輸出額第5位の乳製品は、マーガリン以外の製品の輸出量減少及びアルジェリア以外の輸出先への輸出減少に伴い輸出額は42百万米ドル（前年同月比25%減）となった。
- 5月の主要輸出先を見ると、第1位は先月に引き続き中国で輸出額は115百万米ドル（輸出額全体の26%）となった。主要輸出品であった牛肉及び大豆、牛肉製品、乳製品、羊毛の輸出減少に伴い前年同月比は約33%減となった。一方、木材及び加工品の輸出は増加した。同2位は米国で牛肉の輸出減少に伴い輸出額は56百万米ドル（前年同月比19%増）となった。大豆及び柑橘類の輸出が増加した一方で木材の輸出は減少した。同3位のEUへの輸出額は牛肉の輸出減少に伴い43百万米ドル（前年同月比45%減）となった。また大豆、羊毛、馬肉、豚肉、柑橘類の輸出も減少した。一方、コメ、蜂蜜の輸出は増加した。

同 4 位は輸出が大きく落ち込んだブラジルで輸出額は 47 百万米ドル(前年同月比 51%減)となった。

(出典：ウルグアイ 21 (ウルグアイ貿易投資促進庁))

## 【トピック】

### 1 新型コロナウイルス感染症

#### (1) 一部食品及び衛生用品の価格維持

5 月 8 日、政府は食品及び衛生用品約 80 品目以上に対し今後 3 ヶ月間の価格維持について生産者との間で合意に至った旨発表した。アルベレチェ経済財務大臣の説明によると経済財務省消費者保護局が価格を監視するものの、違反した場合の罰則は設けられていない。なお、本件はインフレ対策としてではなく悪質な値上げへの対策として実施されるもので、米ドル高騰や干ばつ等の予想外の事態が発生した場合には再度政府と生産者の間で協議が行われる。

#### (2) 国際機関からの融資

##### ア CAF

5 月 5 日、ラテンアメリカ開発銀行 (CAF) はウルグアイへの 50 百万米ドルの融資を承認した。更に 5 月 26 日、新型コロナウイルス感染症が経済、金融、社会セクター及び人々の生活に与える影響を緩和するために 300 百万米ドルの融資を承認した。

##### イ BID

5 月 27 日、米州開発銀行 (BID) は新型コロナウイルス感染症による経済・衛生危機への対応に際しウルグアイの公共・財政政策を強化すべく 350 百万米ドルの融資を承認した。また右に加え、第 3 四半期はじめに新たに 311 百万米ドルの融資を実施する方向で準備を進めている旨発表した。

#### (3) 失業保険

5 月 14 日、政府は部分的失業保険を 6 月 30 日まで延長する旨発表した。右は 3 月 13 日の国家衛生緊急事態宣言に伴う措置で期間の延長は今回で 2 回目になる。

### 2 SEC への経済情勢報告書の提出

5 月 11 日、政府は米国証券取引委員会 (SEC) に提出した経済情勢報告書において、国内での新型コロナウイルス感染症発生後も経済活動を完全に停止させないことを重要視し、全

面的な外出禁止令を発動することなく、大規模な会合の自粛要請、リモートワークの奨励等に留めた政府の方針に関し説明した。また、同感染症は経済活動に悪影響を及ぼし、感染症対策にかかる費用の予測も難しいため 2020 年の経済はマイナス成長、財政赤字も悪化するだろうとの見解を示した。

### 3 UPM

5 月 15 日、政府はフィンランド企業 UPM 社との間で 2 件の新たな工場建設に関する覚書への署名を行った。新たな工場建設により建設及び運営における雇用創出が見込まれる他、1 年間で最低でも 7 百万米ドルのエネルギー購入にかかる費用を節約することができる。

### 4 ベトナムへの柑橘類輸出

5 月 21 日 ウルグアイ外務省は、ベトナム政府がウルグアイを同国へ柑橘類を輸出するための適格性を有している国と評価した旨を発表した。在ベトナム・ウルグアイ大使館開設以来、ウルグアイは消費、成長、流通拠点としての大きな可能性を秘めた同地域の市場におけるウルグアイ食品の輸出を目標の 1 つとし、農牧水産省は右を優先事項と位置づけ様々な機会にベトナムにおける柑橘類市場の開放の重要性を表明してきた。2018 年 10 月にモンテビデオで開催された第 1 回ウルグアイ・ベトナム合同委員会でも本件について協議された他、複数回の意見交換の結果、当事者間の合意に達し、2019 年 9 月 21 日から 28 日にかけてベトナム政府による現地の技術訪問が行われ好意的な結果が得られた。ウルグアイ外務省は、本年ベトナムで開催予定の第 2 回合同委員会に向け準備を進めている。

### 5 格付け

5 月 4 日、格付会社 Fitch Ratings 社は 2 月に発表したウルグアイの投資適格格付け「BBB-」、経済見通し「ネガティブ」の更新を検討していない旨を発表した。また、組織力の強さ及び発展した福祉システムによりウルグアイは他のラテンアメリカ諸国に比べ新型コロナウイルス感染症の経済への打撃を抑えることができるだろうと分析した。一方、右組織力の強さは経済成長悪化及び近年急速に悪化している財政赤字を抑えるためには不十分であるとの考察から経済見通しについては引き続き「ネガティブ」とした旨説明した。なお、2020 年には GDP が 3.3%減少するも翌 2021 年には UPM 社のセルロース工場建設に伴い 3.6%の上昇が見込まれると発表した。

## 6 為替レート

5月7日、米ドルの対ペソレートが44.20ペソ（対前日比1.96%増）まで上昇したことに伴い中央銀行は4.5百万米ドルの売り介入を行った。

## 7 自動車販売台数

自動車販売協会（ACAU）の発表によると、新型コロナウイルス感染症の影響で自動車販売業界の活動がほぼ停止したことに伴い4月の走行距離0キロの自動車販売台数は1,308台（前年同月比54%減）となった。

（了）